

応援プラカード完成

生徒会と陸上部で共同製作

▶パネル製作に携わった生徒会と陸上部のメンバー



速報新聞

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

パネルで応援を一つに

赤鬼の春II 21 ★

▶全校応援にも生徒会メンバーの協力があった。



生徒会と陸上部の一部生徒が、野球部のベンチ入りメンバーの名前や応援歌が書かれたプラカードを製作した。このプラカードは甲子園での全校応援の際に使用されるもので、昨夏のものから新たに作り直された。プラカードは3月21日の野球部と吹奏楽部の合同練習で初めて使用され、3月23日の全校応援練習の際にも使用された。



生徒会長の田中海翔君(2-2)は「シールの切り貼りが多く、製作には苦労した。同じ作業を繰り返すのは少々面倒だった。しかし完成したときの達成感が大きく、やってきてよかったと思えた。野球部の選手を始め、応援する生徒みんなの役に立てばと思いついて頑張った」と製作時の心境を明かした。全校応援練習を振り返り「夏にも応援練習を行っているので、みんなとても大きな声で練習してくれてうれしかった。本番でもこのパネルを使うので、甲子園でも応援する全員で心一つにして頑張りたい」と意気込みを見せた。センバツ出場について「今回は自分の同級生や知っている人も多く出場する。応援を選手の力にしてほしい」と笑顔で話した。制作メンバーのなかでも中心となって活動していたという生徒会役員の佐竹亜花梨さん(2-6)はパネルづくりを「作業量が多く大変だったが、しかし完成したときの達成感が大きかった」と振り返った。野球部に向けて「私たちも一杯応援して選手の力になれるようにしたい。野球部の皆さん頑張ってください」とメッセージを送った。